

**豊田市こども発達センターひまわり
地域障がい児支援体制中核拠点の取り組み**

① 幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能	
総合的な発達支援の充実	園児に対して遊びや生活を通して障がいの行動特性を踏まえたアセスメントを実施し、専門的な支援（発達支援、家族支援）を行います。
家族支援機能の充実	園児の単独療育活動や保護者勉強会を通して、子育てへのサポートや家族支援を継続的に行います。外国にルーツのある家庭や養育に支援が必要な家庭に対して関係機関と連携し継続的に支援します。
職員の専門性の確保	職場研修を計画的に実施します。（発達障がいについて、虐待防止、家族支援、感染対策、発達検査等）愛知県知的障がい者福祉協会、西三河児童福祉施設長会、近隣6市施設主任会に参加し、療育実習、研修会、情報交換会を実施します。 豊田市心身障がい児早期療育推進委員会に参加します。
多様な専門職との連携	のぞみ診療所の医療・個別療法について情報共有や相談支援専門員と連携し、発達支援に役立てます。
② 地域の障がい児支援事業所等に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能	
他事業所への支援	豊田市の児童発達支援事業所向け研修会や事業所間における相互見学実習や情報交換会を開催します。また放課後デイサービス事業所職員の療育実習を受入れます。
③ 地域のインクルージョン推進の中核機能	
インクルージョンの推進体制の推進	卒園児が通うこども園や小学校等に移行児支援を実施し、専門的な立場から助言等を行います。地域園との施設交流や個別交流を通してインクルージョンの重要性および取り組みについて、豊田市園長会等を通じて発信・周知を進めます。
④ 地域の発達に関する入り口としての相談機能	
発達支援に関する入り口としての機能	外来療育グループあおぞら・おひさま、地域療育相談室と連携を図り児童発達支援に繋がる体制作りを進めます。